



1

住まう人の想いをカタチにする住まいづくり

西岡さんの要望は、「和室とDJブースのある自分専用スペース」というもの。「和室は、天井を低くした空間にしたかった」と、西岡さんは話します。

1階の和室の天井を低くすることで、その上部はスキップフロアとなったフリールーム。このDJブースのある専用スペースを通じて、西岡さんは、「ここは、吹き抜けを通じて、1階とつながっているのだから、室内の様子が見渡せません」と話します。

この住まいでは、エネファームタイプSと太陽光によるダブル発電を採用。「実際に暮らしてみて、光熱費が削減できた」と実

感しています。そのため、お客さまにも実体験としてお話をさせていただいています」と、西岡さん。

また、動線にこだわっていると話す池本さんは、「パントリー動線はモデルハウスの来場者の方にも興味を持っていただいています。この住まいでは、実際に喜んで使ってもらっていると、西岡さんからも聞いています。住まいは、どれ一つをとっても同じものがないです。ご要望を伺い、それを叶えることができた時は、とてもうれしく、微笑みます。同社の住まいづくりは、住まう人の想いをカタチにする、笑顔あふれるものとなっています。



5



4



6

- 1 カフェのカウンターを彷彿させるダイニング・キッチン。カウンター上部の木枠組みは、奥さまが趣味で収集した小物を飾るためのスペースとして活用。
- 2 スキップフロアとなったフリールーム。一角には、DJブースが設けられています。
- 3 リビングの一部が吹き抜けに。吹き抜けを通じて、1階とフリールームがつながっています。

- 4 玄関から直接パントリーにつながる裏動線。買い物から帰った際など、荷物がすぐに置けるので、とても便利なのだそうです。
- 5 キッチンカウンター前には、小物などを飾っておくための飾り棚が設置されています。キッチン奥は、パントリーにつながる出入り口になっています。
- 6 ダークブルーを基調に、ブラウンのアクセントがきた外観。



八幡コーポレーション株式会社
営業部 姫路くらしの駅店 係長
にしおか ゆうじ
西岡 裕次さん (写真・左)

八幡コーポレーション株式会社
営業部 営業設計課 係長
いけもと わが
池本 和香奈さん (写真・中)

八幡コーポレーション株式会社
建設部 工事課 係長
もりもと ともみ
森本 智伸さん (写真・右)

住まいとは、そこに住まう人により、そのカタチはさまざまです。私たちは、「お客さまに幸せをお届けしたい」という思いから、それぞれのお客さまの視点に立ち、お客さまとともに、住まいづくりに取り組んでいます。また、ひとつの案件を営業、設計、工事の担当者がプロジェクトチームでサポート。新築も建替も、安心してお任せください。

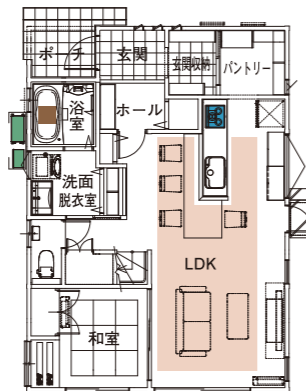
姫路と加古川にある展示場「くらしの駅」では、数々のモデルルームを展示しています。播磨地域方面でお住まいをお考えなら、ぜひ一度ご来場ください。

- ・連絡先: 八幡コーポレーション株式会社
- ・住所: 姫路市御立中4丁目14-7
- ・TEL: 0120-49-1197
- ・URL: <http://yht8.co.jp/>

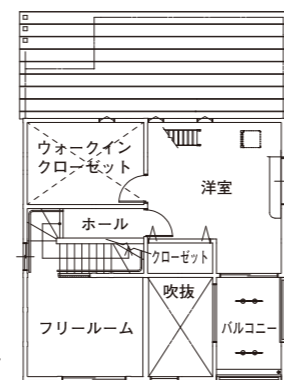
※サイト内から専用フォームにて問い合わせができます。

カフェ風の空間に遊び心をちりばめた家(N邸)

縮尺=1/200



1F



2F

カフェ風の空間に遊び心をちりばめた家(N邸)

- ・所在地/兵庫県姫路市
- ・敷地面積/166.25㎡
- ・延床面積/99.36㎡
- ・構造・規模/木造・地上2階
- ・設計期間/2016年7月~2016年10月
- ・施工期間/2016年11月~2017年3月

導入ガス設備・システム

- ・家庭用燃料電池コージェネレーションシステム
- ・エネファームtype S
- ・ガス温水床暖房 ヌック
- ・ガス温水浴室暖房乾燥機 カワック
- ・Siセンサーコンロ
- ・太陽光発電システム

「どこを見ても絵になる家」がテーマ



2



3

姫路市の住宅街の一角にある「カフェ風の空間に遊び心をちりばめた家」は、ダークブルーの外観が印象的な住まい。室内に入ると、ポップでカラフルなカラーがアクセントになった、楽しさあふれる空間になっています。「カフェ風な空間にしたい」というのが奥さまのご要望でした。「どこを見ても絵になる家」がテーマです」と話すのは、この住まいの設計を担当した八幡コーポレーション株式会社の池本和香奈さん。「奥さまが趣味で集められた小物などを飾っていただくのに似合う、遊び心あふれる楽しい空間になっ

ています」と、語ります。

この住まいの特徴のひとつは、玄関からの裏動線。玄関がパントリーとつながっており、そこから室内に入ることができるようになっています。「ほとんどパントリー側から出入りしています」と話すのは、施主でもある同社営業の西岡裕次さん。「弊社のモデルハウスに、同じ動線のものがある。それを妻が見て気に入ったことから、この動線ありきで、1階部分はプランニングされています」と、話します。